バリアブルルーフラック J-Mサイズ 取扱説明書

このたびは、シーエルリンク製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。
製品を正しく安全にご使用いただくために、あらかじめ本書をよくお読みのうえ、内容をご理解ください。

構成部品 ルーフラック本体

番号	名　称	略　図	数　量
①	フロント・リアフレーム (うち1点はロゴ入り)		2
②	サイドフレーム		2
③	センターフレーム		6
④	コーナーフレーム (うち1点はロゴプレート付き)		4
⑤	固定用ブラケットA		6
⑥	固定用ブラケットB		6
⑦	本体組み立て用スクエアナット		8
⑧	ハネ付きスクエアナット		10

番号	名　称	略　図	数　量
⑨	アイボルトリング		4
⑩	キャップボルト M8x20	-	6
⑪	キャップボルト M8x25	-	6
⑫	キャップボルト M8x40	-	8
⑬	キャップボルト M8x45	-	6
⑭	六角穴付きトラスボルト M8x20	-	6
⑮	平ワッシャー(大) M8	-	16
⑯	平ワッシャー(小) M8	-	20
⑰	スプリングワッシャー	-	30
⑱	六角レンチ(5mm・6mm)	-	2
⑲	固定用ブラケットスペーサー	-	6
⑳	ボルトキャップ	-	6

構成部品 風切り音低減プレートセット

番号	名　称	略　図	数　量
①	風切り音低減プレート		2
②	レールナット	-	4
③	六角穴付きボルト M8	-	4

番号	名　称	略　図	数　量
④	平ワッシャー M8	-	4
⑤	スプリングワッシャー M8	-	4

適合型式

SUZUKI ジムニー JB64 / ジムニー シエラ JB74 / ジムニー ノマド JC74

⚠ 取り付け前の注意事項

●本製品の組み立てを開始する前に、必ず構成部品の数量を確認してから取り付けてください。

⚠ 取り付け上の注意事項

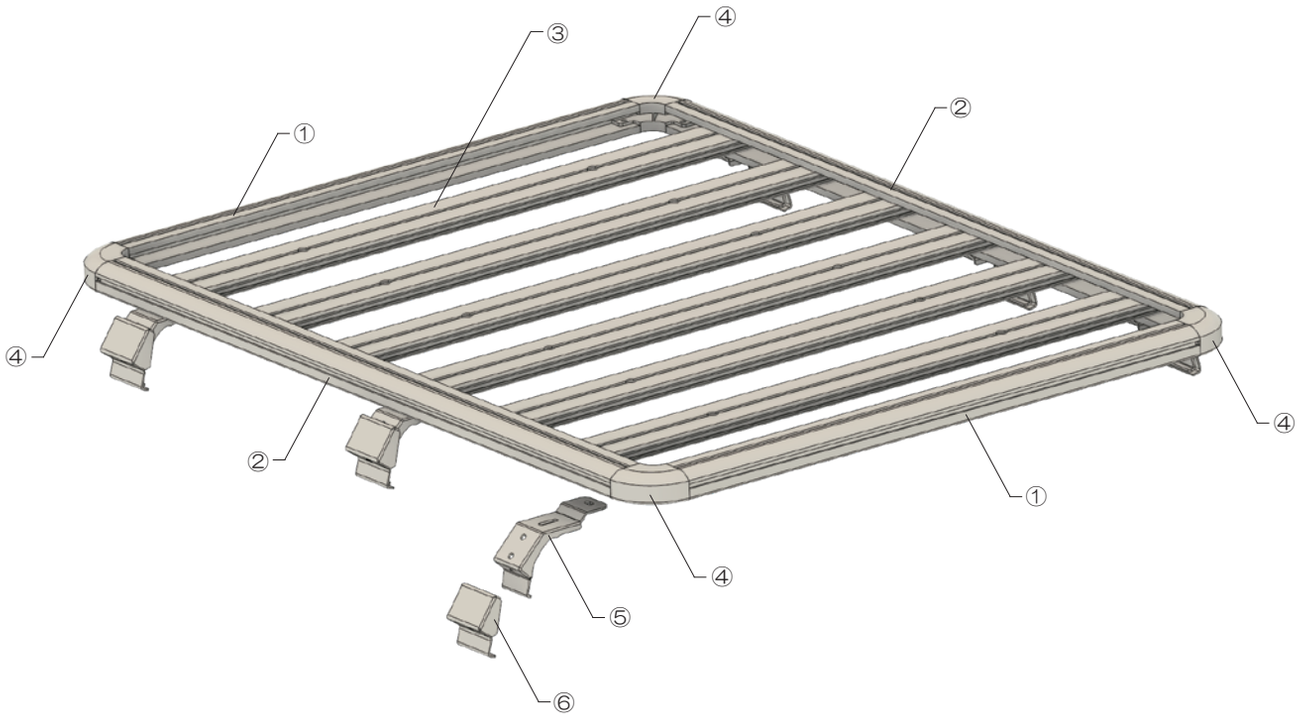
●取り付け要領では安全な作業をしていただくため、特にお守りいただきたい事項を次のマークで指示しています。

⚠注意 ・・・守らないと事故やケガ、車両を損傷するおそれがある事項を記載しています。

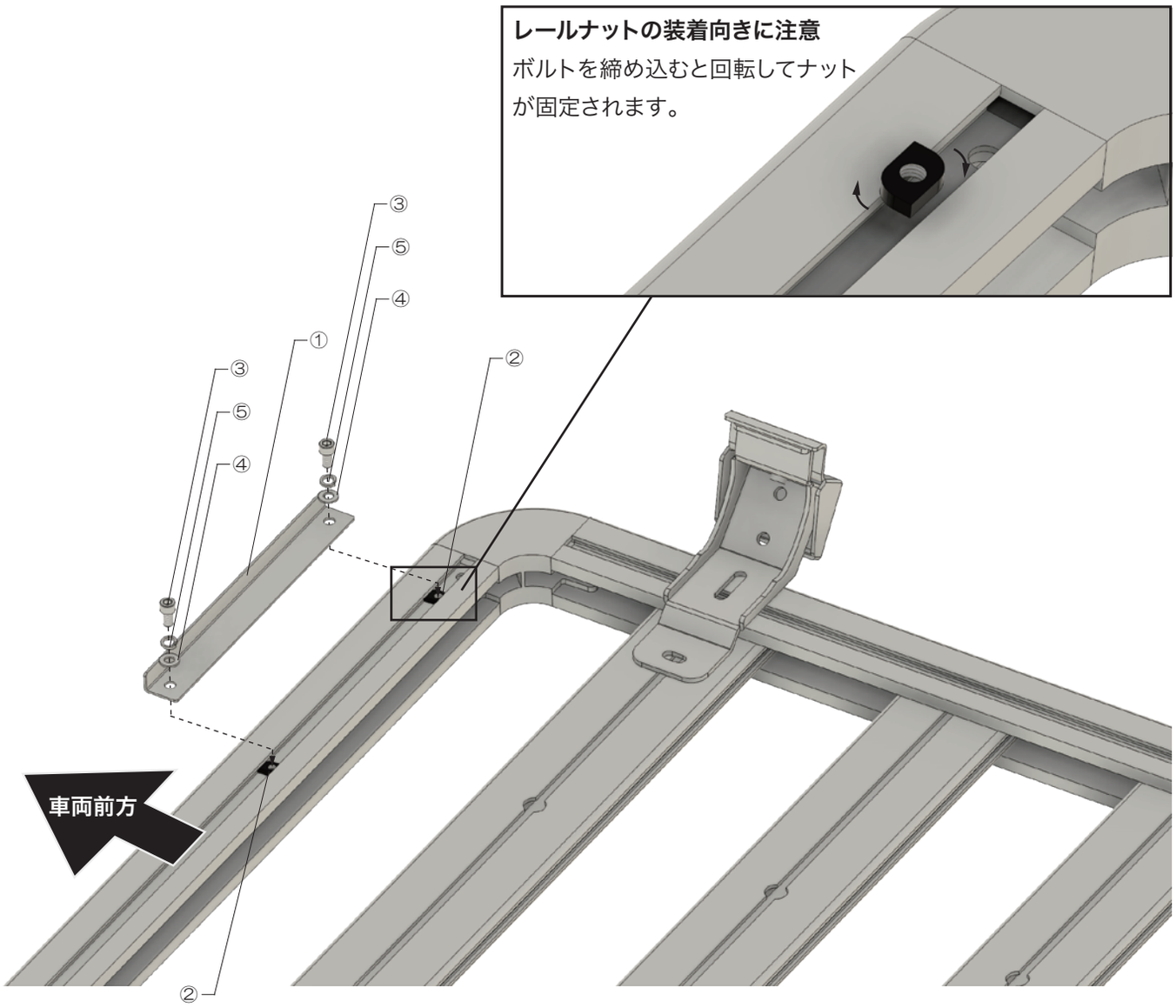
POINT ・・・作業をスムーズに進めるために、事前に知っておいていただきたい事項を記載しています。

●作業前に本書をよくお読みください。
●作業時には必ず傷防止の処置を講じ、車両や部品に傷を付けないよう十分注意して作業を行ってください。

組み立て配置図 ルーフラック本体



組み立て配置図 風切り音低減プレートセット



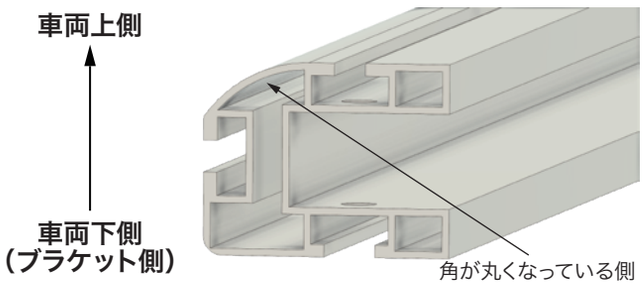
取り付け要領

1 フレームの組み立て

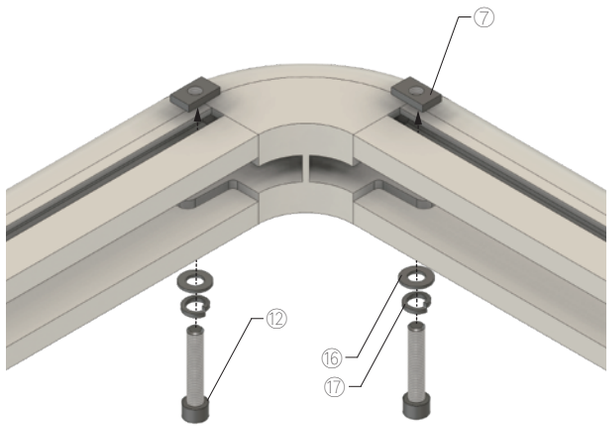
❶右図を参考にフロント・リアフレーム、サイドフレーム、コーナーフレームを「コの字形状」に組み立て、付属のボルト類を使用して固定してください。
ボルト類は仮締めしてください。

POINT **フロント・リアフレーム(2点中1点)にはロゴ印刷が、コーナーフレーム(4点中1点)にはロゴプレートが装着されています。**
お好みの位置に配置してください。

POINT **各フレームには上下の設定があります。**
下図を参考に作業を行ってください。



完成図



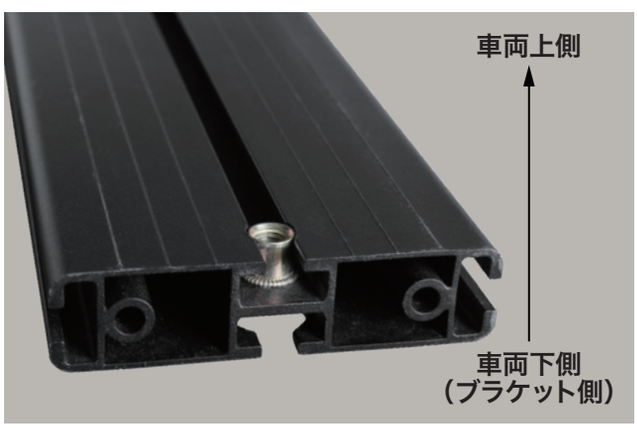
フレーム組み立て図
※⑦はフロント・リアフレーム、サイドフレームのレールに挿入します。

2 センターフレームの組み立て

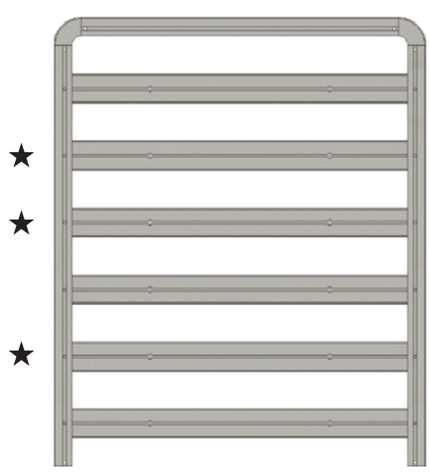
❶センターフレームをサイドフレームの溝に挿入してください。

POINT **右図を参考にセンターフレームの固定用ナッターの向きに注意して挿入してください。**

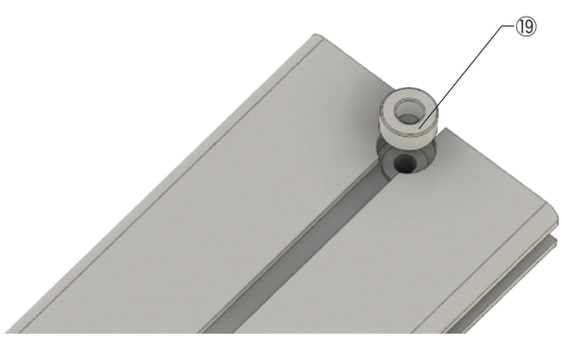
POINT **固定用ブラケットAを装着しないセンターフレーム(完成図★列)には、挿入前に付属の固定用ブラケットスペーサーを装着してください。**



センターフレームの挿入向き



完成図

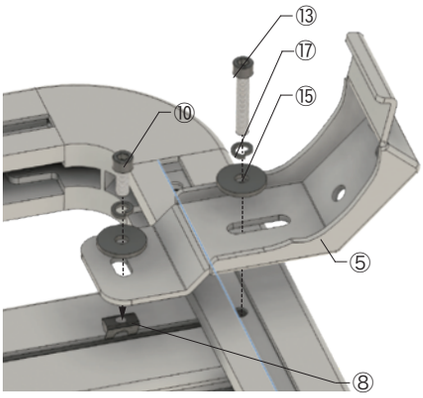


固定用ブラケットスペーサー取り付け図

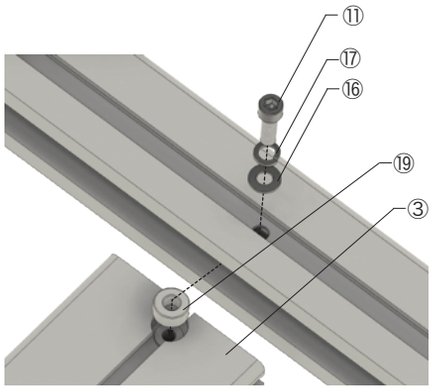
2 センターフレームの組み立て（続き）

❷下図を参考にサイドフレーム、センターフレーム、固定用ブラケットAを付属のボルト類を使用して固定してください。
ボルト類は仮締めしてください。

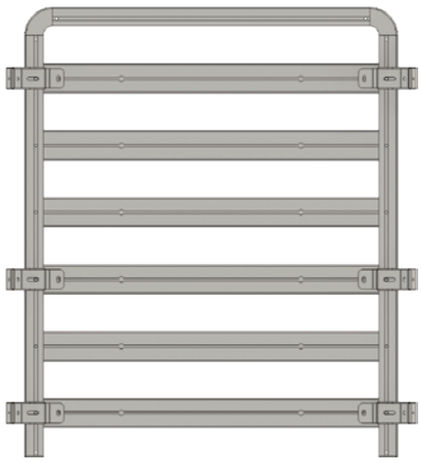
POINT **固定用ブラケットAは、フロントフレームから1本目・4本目・6本目のセンターフレームに取り付けます。**



センターフレーム、固定用ブラケットA
の取り付け図
※⑧はセンターバーのレールに挿入します。

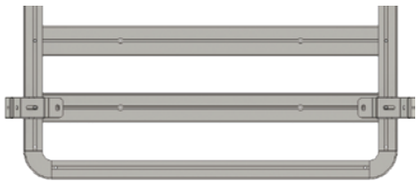


センターフレームのみの取り付け図
※⑲はセンターフレームをサイドフレームに挿入する前に装着してください。



完成図

❸1で取り付けなかった残りのフレームを組み立て、付属のボルト類を使用して固定してください。
ボルト類は仮締めしてください。



POINT **作業内容は「1フレームの組み立て」と同様です。**

3 各ボルト本締め

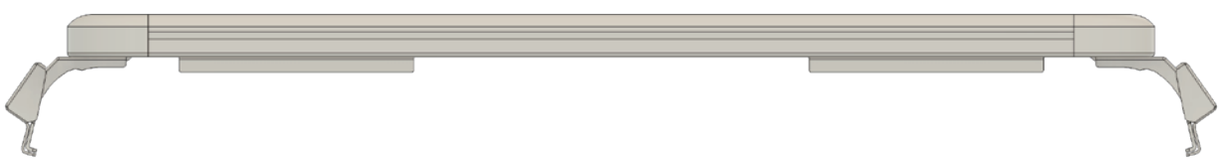
❶ルーフラック本体にねじれがないことを確認して、固定用ブラケットA以外のボルトを本締めしてください。

A 追加ガードの組み立て・取り付け（任意）

❶追加ガードを取り付ける場合は、7ページ以降を参考に組み立ててください。

B 風切り音低減プレートの取り付け（任意）

❶2ページの組み立て配置図と下記の図を参考にルーフラック本体最前部（車両フロント側）のフロントフレーム下部に風切り音低減プレート本体を2個取り付けてください。



フロントフレームの両端にプレートを装着

POINT **フロントフレームの一番両端を基準に風切り低減音プレートを配置してください。**
取り付けの際、フロントフレームとコーナーフレームを固定するレール内のボルトとプレート固定用のレールナットが干渉しないように注意してください。

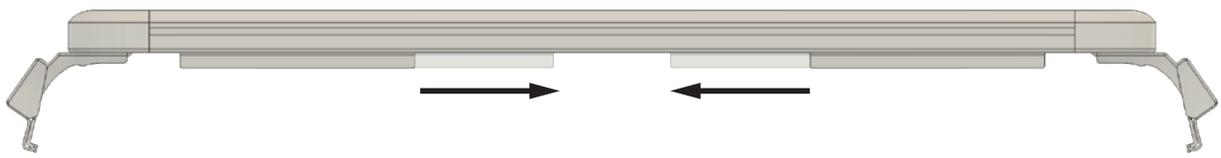
⚠注意 **作業中に車体を傷つけるおそれがありますので、車両からラック本体を外した状態での作業を推奨します。**

❷風切り音低減プレート本体がしっかりと固定されていることを確認します。

⚠注意 **ブラケット類が完全固定されていない状態(仮締め時)では、ルーフラックの取り付け位置によって、車両ルーフの凸部分に干渉するおそれがあります。作業時は車体に傷がつかないよう、養生テープ等で保護してください。**

風切り音低減効果の調整について

●車両個体差や個人の感じ方の違いにより、風切り音低減効果の違いが発生します。(※完全に防止する効果はありません。)
効果が薄いと感じた場合、プレートの装着位置を調整して風切り音が低減する(空気の流れが変わる)位置にしてください。



プレート装着位置の調整イメージ

⚠注意 **プレートは必ず左右対称になるように配置してください。**

POINT **効果が薄いと感じた場合はラック本体の前後位置の調整も空気の流れを変更することに効果的です。**

4 車体への取り付け

❶固定用ブラケットAの位置を微調整しながら、ルーフラックを車両ルーフのレインガーターに乗せます。

⚠注意 **2トーンカラーの一部車両は、固定用ブラケットAと重なる部分のレインガーターモールをカットする必要があります。**

⚠注意 **製品の落下による事故や車両の損傷を防ぐため、必ず2人以上で作業してください。**

❷レインガーターに固定用ブラケットAがしっかりと密着する位置にくるよう、全体のバランスを調整します。

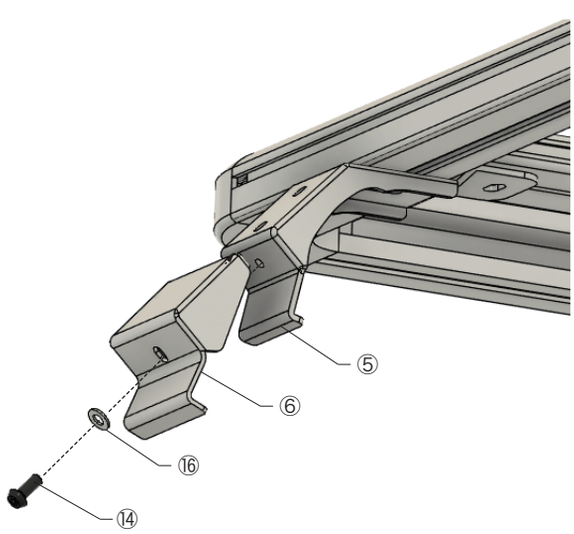
POINT **車体とルーフラック左右位置にも注意してバランスを調整してください。**

❸固定用ブラケットBを固定用ブラケットAに付属のボルト類で固定します。ボルト類は仮締めしてください。

❹固定用ブラケットA→固定用ブラケットBの順番でボルト類を本締めします。

⚠注意 **固定用ブラケットBのボルトの締め付けトルクに注意してください。トルクが強すぎるとレインガーターの変形、トルク不足ではドアとの干渉やルーフラックの脱落などの原因となります。**

装着イメージ



ブラケットB取り付け図

5 最終チェックとボルトキャップの取り付け

❶ルーフラックがしっかりと車両に固定されていること、ドア開閉時にドアとの干渉がないことを確認してください。

❷固定用ブラケットBに取り付けた六角穴付きボタンボルトに、ボルトキャップを装着してください。

アイボルトリングの取り付け要領

❶アイボルトリングのルーフラックへの固定はハネ付きスクエアナットを使用します。右図を参考に装着してください。

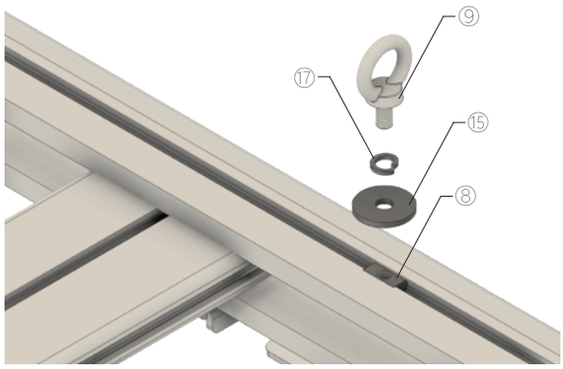
POINT **アイボルトリングはルーフラックの上面および側面にあるレールのお好みの位置に取り付けられます。**

⚠注意 **レールの丸い切り欠きがある箇所では、ハネ付きスクエアナットを固定できません。**

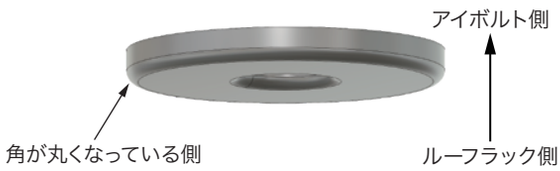
⚠注意 **平ワッシャー(大)の装着向きに注意してください。誤った向きに装着すると、ルーフラックとの接触面に傷が付くおそれがあります。**

❷アイボルトリングが確実に固定されていることを確認してください。

⚠注意 **定期的に固定されているか確認してください。固定不良が発生した場合、積載物の落下など重大な事故の原因となります。**



アイボルトリングの取り付け図
※⑧はルーフラックのレールに挿入します。



平ワッシャーの装着向き

メモ

追加ガードの種類・1セットあたりの構成部品

❶センターブラケット

番号	名　称	略　図	数　量
①	センターブラケット		1
②	六角穴付きボタンボルト M8×16	-	2
③	平ワッシャー M8	-	2
④	スプリングワッシャー M8	-	2
⑤	ボルトキャップ	-	2

●各バリエーションでの必要セット数

・ハーフアラウンド仕様 ×4

・オールアラウンド仕様 ×8

❷エンドブラケット

番号	名　称	略　図	数　量
①	エンドブラケット		1
②	キャップボルト M8×12	-	1
③	ハネ付きスクエアナット M8	-	1

●各バリエーションでの必要セット数

・サイドガード仕様 ×4

・ハーフアラウンド仕様 ×2

❸コーナーガード

番号	名　称	略　図	数　量
①	コーナーガード		1
②	六角穴付きボタンボルト M8×20	-	2
③	平ワッシャー M8	-	2
④	スプリングワッシャー M8	-	2
⑤	ボルトキャップ	-	2

●各バリエーションでの必要セット数

・ハーフアラウンド仕様 ×2

・オールアラウンド仕様 ×4

❹ストレートガード 450mm / 794mm

番号	名　称	略　図	数　量
①	ストレートガード (450mm または 794mm) ※	-	1
②	六角穴付きボタンボルト M8×20	-	2
③	平ワッシャー M8	-	2
④	スプリングワッシャー M8	-	2
⑤	ボルトキャップ	-	2

※ご購入いただいた仕様に応じたサイズが1本同梱されています。

●各バリエーションでの必要セット数

・サイドガード仕様

794mm ×2

・ハーフアラウンド仕様

450mm ×1

794mm ×2

・オールアラウンド仕様

450mm ×2

794mm ×2

追加ガード装着前に

❶各ブラケットのルーフラックへの固定にはハネ付きスクエアナットを使用します。
ルーフラック上部のレールにナットを装着してください。

POINT **レールに対してハネ付きスクエアナットを斜めにスライドさせて挿入することができます。ハネ付きスクエアナットの取り付けや取り外しが難しい場合、レールの丸い切り欠きがある箇所で行ってください。**

⚠注意 **レールの丸い切り欠きがある箇所では、ハネ付きスクエアナットを固定できません。**

レールに装着されたハネ付きスクエアナット

レールの丸い切り欠きがある箇所

追加ガードの取り付け要領

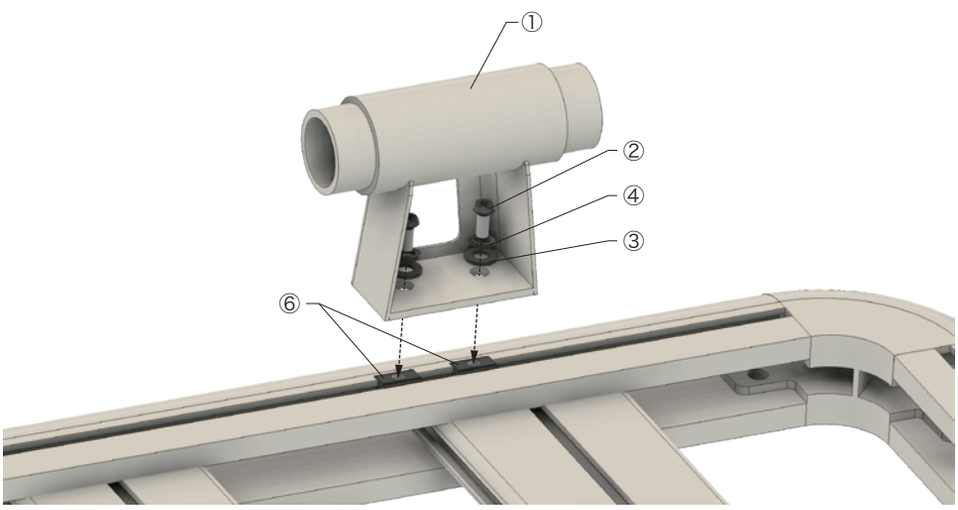
❶固定方法の図を参考に組み立ててください。

POINT ボルト類は仮締めし、組み立て完了後に本締めしてください。

❷六角穴付きボタンボルトにボルトキャップを装着してください。

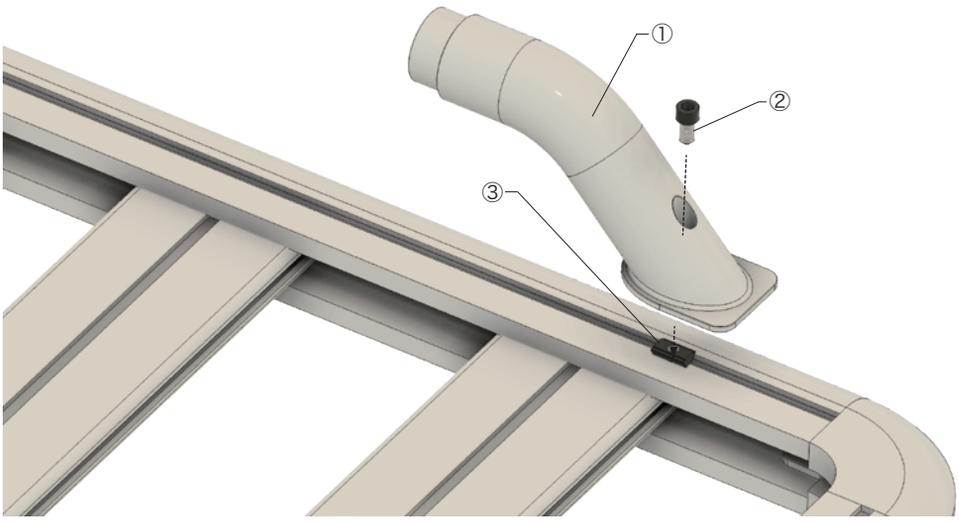
❶センターブラケットの固定

※図中の番号は、構成部品表にある部品番号に対応しています。

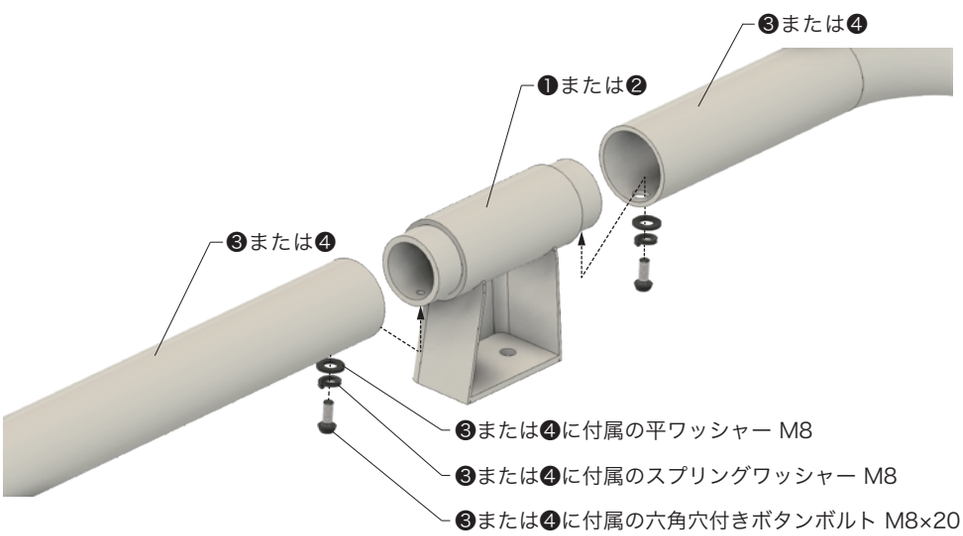


❷エンドブラケットの固定

※図中の番号は、構成部品表にある部品番号に対応しています。



ブラケットとガードの固定

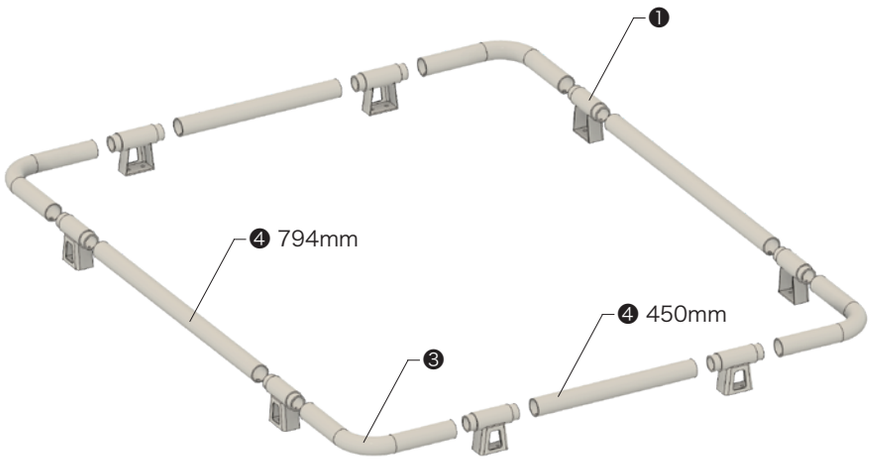


※図は左からストレートガード・センターブラケット・コーナーガードの順に組み立てた例です。

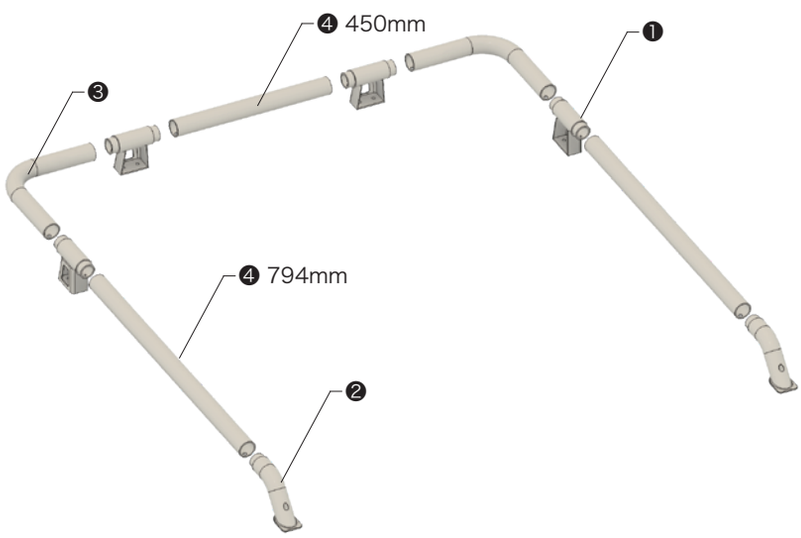
メモ

追加ガードの組み合わせ例

オールアラウンド仕様

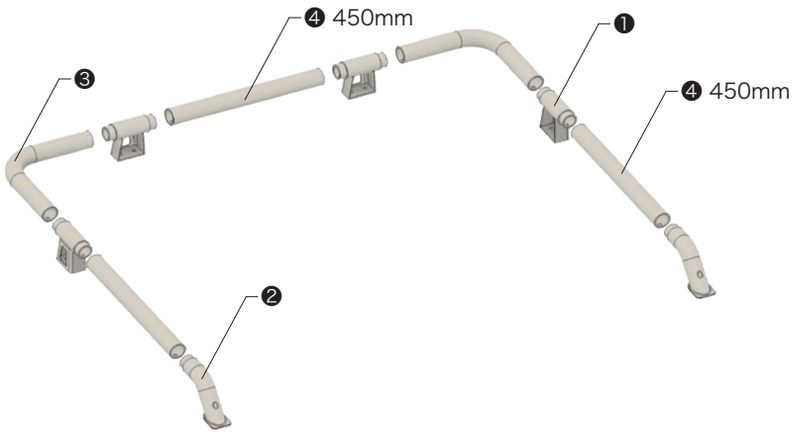


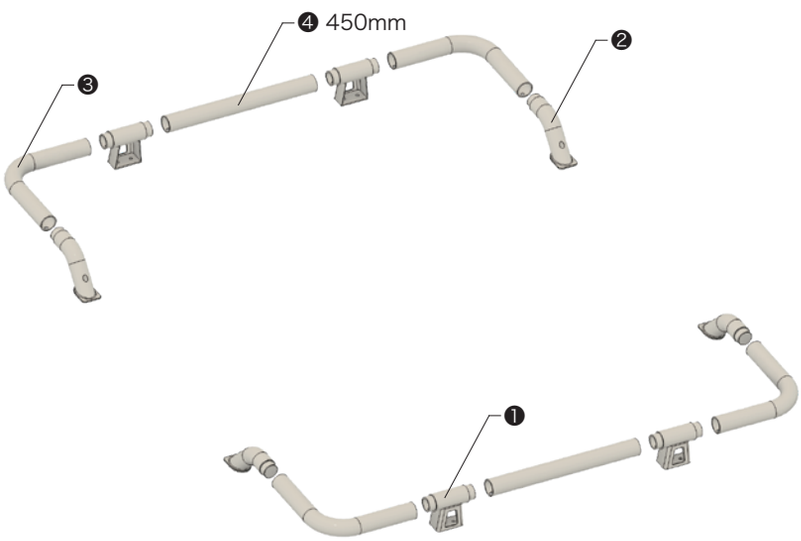
ハーフアラウンド仕様

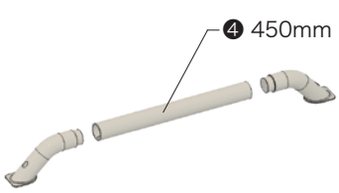


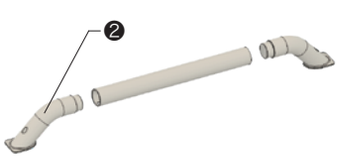
サイドガード仕様

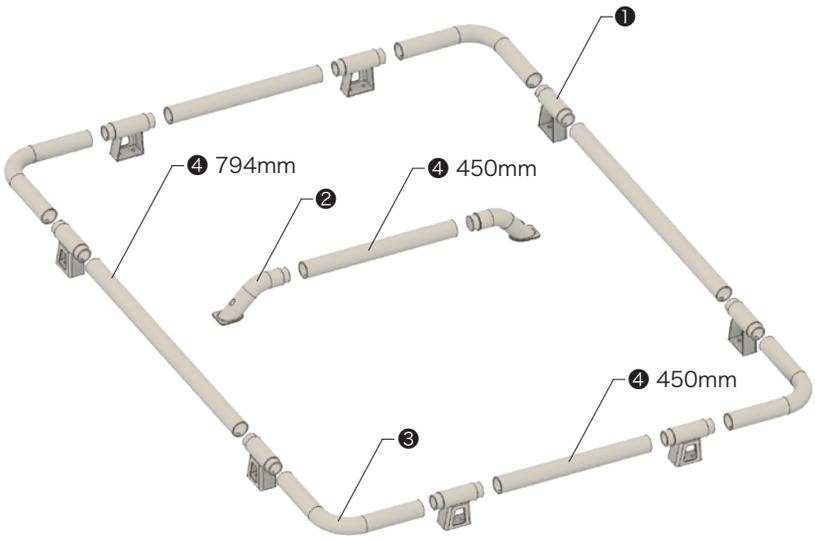
OTHER　※必要に応じて追加ガードを別途購入してください。











メモ

⚠使用上の注意

本製品を安全にご使用いただくために、必ずこの注意事項をお読みいただき、記載された内容に従って正しくご使用ください。
あわせて、別冊の「製品取扱い注意事項」も必ずご確認ください。
なお、本製品を他のお客様に譲渡される場合は、本書も必ず添付してお渡しください。

●走行前および走行後には、必ず全てのボルト類の緩みやガタつきを点検し、必要に応じて増し締めしてください。
緩みやガタつきがある状態で走行すると、ルーフラックの脱落や事故の原因となります。
●ルーフラック装着時および積載時は車高が高くなります。法定速度以下で安全運転を行い、急ハンドル・急発進・急ブレーキは避けてください。また、屋根付き駐車場・トンネル・高架・木の枝など高さ制限のある場所では十分に注意してください。
●走行前には、製品にクラックや破損がないことを必ず確認してください。破損がある場合は使用を中止してください。
そのまま使用すると積載物の落下など重大事故につながるおそれがあります。
●落下物は落とし主の責任となります。運行前に必ず積載物が確実に固定され、安全に運行できる状態であることを確認してください。固定が不十分な場合、積載物が落下して後続車や歩行者を事故に巻き込むおそれがあります。
●積載物は高く積み上げたり、片寄らせたり、斜めに積載しないでください。誤った積載方法は積載物の落下を招き、事故の原因となります。
●悪天候（強風・豪雨・降雪など）や悪路走行時は、積載物の固定状態をより頻繁に確認してください。
●ルーフラックの長さ・幅を超える積載はできません。
●長時間車両から離れる場合は、必ず荷物を降ろしてください。
●製品を装着したまま洗車機を使用しないでください。車両や洗車機の故障・破損の原因となります。
洗車機を使用する際は、ルーフラックを取り外してください。
●車両ルーフの耐荷重を超える荷物は積載しないでください。必ず各取扱説明書をご確認ください。
車両ルーフやレインガーター、ベースキャリアの変形などについては保証いたしかねます。
●動物、可燃性・爆発性物質、その他の危険物はルーフラックに載せないでください。
●本製品の改造は行わないでください。また、他社製パーツとのマッチングは考慮していません。
●製品使用中に衝突や強い衝撃を受けた場合、本体や取り付け部に変形・破損・故障が生じることがあります。直ちに使用を中止し、取り付け店舗にて点検を受けてください。
●不具合が発生した場合は、お買い上げの販売店または取り付け店舗へ至急ご連絡ください。
●製品および車両の取付部は、本来の使用目的以外の使用を想定していません。製品に無理な負荷をかける行為（例：製品に手足を乗せる、物を掛ける、上に人が乗るなど荷重をかける）は、事故や破損の原因となります。製品の使用目的以外の使用は絶対に行わないでください。

ご不明な点がありましたら、お問い合わせください。
Mail: info@cl-link.com
HP: https://www.cl-link.com/

発売元
シーエルリンク株式会社
〒739-0033　広島県東広島市西条町馬木564-1

C.L.LINK
CUSTOM PARTS